

技術・知財経営コンサルティング

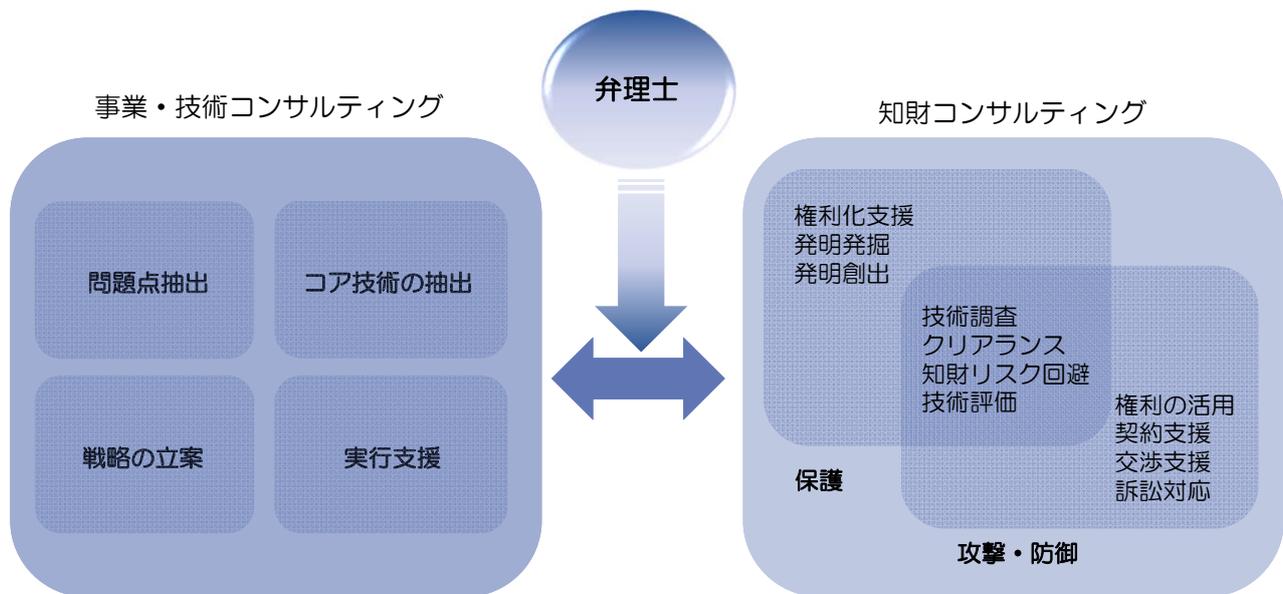
 HIRAKI & ASSOCIATES

## 平木国際特許事務所 技術・知財経営コンサルティング

当事務所では技術と知財に精通した弁理士がコンサルティングを行います。従前の経営コンサルタントでは成し得なかった、技術者の視点で顧客企業の強みとなる独自技術を見出し、それを保護・活用する戦略を立案することが可能です。当事務所は、その戦略の実行支援を通して顧客企業の業績向上の実現をお手伝いいたします。

- ◎ 理念  
知財及び技術を活用した事業戦略に関するコンサルティングを通して顧客企業の業績の向上を実現する
- ◎ 対象業種  
製造業、建設業、IT通信業、サービス業
- ◎ コンサルティング内容
  1. コア技術の抽出
  2. 問題点抽出
  3. 戦略の立案
  4. 戦略実行の支援

### 事業・技術コンサルティングと知財コンサルティングの関係



私たちが提供する技術・知財経営コンサルティングは、事業・技術コンサルティング及び知財コンサルティングという大きな2つの柱から構成されます。知財に精通した弁理士が、事業・技術コンサルティングを行うことによって、御社ビジネスの保護及び業績向上を図ること目的としています。

まず、事業・技術コンサルティングによって、事業の問題点及びコア技術を抽出し、それらを踏まえた事業戦略を立案するとともに、その事業戦略の実行をサポートします。

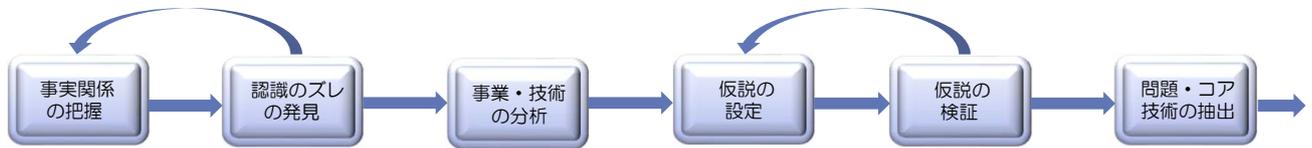
そして、立案した事業戦略と整合性を取りながら、必要に応じて知財コンサルティングを実行していきます。例えば、抽出したコア技術について知財面からいかなる保護・活用を図るべきか提案します。事業の問題点を解決するために新たな技術的アイデアが必要な場合には、ブレイン・ストーミング等による発明の創出、権利化サポートなどの知財面からバックアップをします。また、事業を推進して行く上で、他社の権利が問題となりうる場合にも知財的解決策を提示します。

以上のように、私たちの技術・知財経営コンサルティングは、事業・技術コンサルティングと知財コンサルティングを融合させ、御社の事業をサポートする新たな経営コンサルティングを提供するものであります。

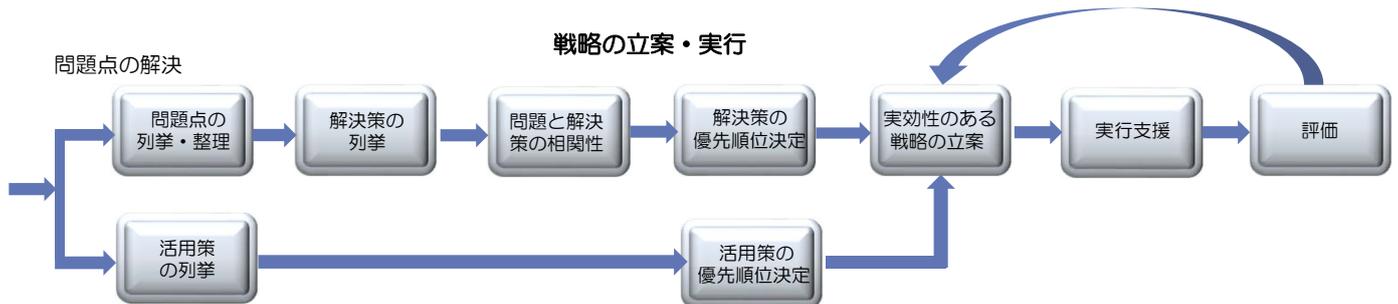
## コンサルティング・アプローチ

事業・技術コンサルティングのアプローチは、問題点・コア技術の抽出と、戦略の立案・実行で構成されます。

### 問題点・コア技術の抽出



### 戦略の立案・実行



### コア技術の活用

問題点・コア技術の抽出ステージでは、各マネジメントレベルや現場レベルの方々に対して様々な角度からインタビューしたり、実際に現場を見たりすることにより、事実関係や各レベルでの認識のずれを把握します。インタビュー等で得られた情報や知見を基に、仮説を設定し、それを様々な分析手法を用いて検証することにより顧客企業の強みとなるコア技術を抽出したり、問題点を顕在化させます。

戦略の立案・実行ステージでは、抽出された問題を整理し、各問題点の解決法を列挙します。列挙された問題点と各解決法に相関があるかを判断し、あるものについてはまとめます。複数の問題があり、それに対応して複数の解決法がある場合には、解決法に対して優先順位を付けます。また、抽出されたコア技術については、活用策を可能な限り列挙し、それらの優先順位を決定します。

更に、時間・コスト・リソースを考慮し、実効性があり、かつ実行可能なものを選択して最終的な戦略を決定します。そして、立案された戦略に対する実行を支援し、その成果を評価します。

## 相談例

- **新たな事業展開**  
我が社は、創業以来A製品を製造してきた。現在は固定客もおり、業績も比較的良好であるが、市場のグローバル化に伴い、今後は競争や市場の激変が予想される。将来に備えて、A製品で培った技術やノウハウを活かした新たな事業を展開したいと考えているが、どの分野に進出し、どのような事業を展開すべきだろうか？
- **独自製品の開発**  
我が社は、顧客の仕様に従って製品を製造する企業であるため、現状のままでは将来の成長が見込めない。マンネリ化した事業を打破して自社にイノベーションを起こし、独自の製品を開発して自立型企业へ転換したいと考えている。自社の真に競争力のある技術とノウハウが何であるのか、またその技術やノウハウを活かして、どのような製品を開発すべきかアドバイスが欲しい。
- **競争力強化**  
外国から安価な製品が輸入されたことで市場の競争が激化し、我が社の事業も打撃を受けている。この状況に対応して生き残っていくために、自社独自の技術や知財を活用して業績向上に結び付けたいと考えている。競争力を高めるためには、どの技術力を高め、また知財として保護していくべきだろうか？
- **成長阻害要因の発見**  
我が社は独自の技術を持っているが、現在行っているどの事業の業績も芳しくない。事業の成長を阻害している原因は一体何であるのか知りたい。また、自社の技術をどのように活かしていけば業績を改善できるかアドバイスが欲しい。